味噌新聞

2020.02.08 発刊

4の1　4名

味噌が苦手でも食べれそうな具材

みそ汁ですよね。しかも、みそのんだり食べたりすると、がんになるかくりつが40%も下がるとも言われていますので、ぜひ具材といっしょにのんでいただくとうれしいです。

ほかにもみそにあいそうな具材などを、あいうえお順にご紹介します。

作り方など

M～Lサイズを1人あたり1個ずつ用意する。

①鍋に水を入れて沸騰させる。

②沸騰したら、だしの素を入れて溶かす。

③ゴボウ、にんじん、大根、こんにゃくを食べやすい大きさに切る。

④鍋に③を入れて煮る。

⑤野菜が柔らかくなったら、味噌を溶かし入れる。

⑥豆腐を入れて温める。

⑦器に盛り付けて、ねぎを散らす。

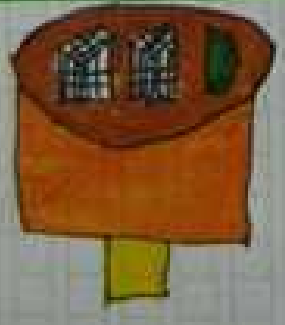
（作り方のポイントは、味噌を入れる前に野菜をしっかり煮ることです。）

味噌の効果について、味噌には、いろいろな効果があります。例えば、1日3杯の味噌汁を毎日飲むとガンになる確率を約3割下げる効果があります。それから、高血圧、コレステロールや血圧を下げる効果や食べ物の消化を助ける働きがあるという研究結果が出ています。それから、毎日食べると、健康につながるという効果もあります。このようにいろいろな効果がありますが、味噌には、いろいろな効果があるのでぜひ食べてください。でも、にがてな人は、好きな具材をいれてもおいしいのでためしてみてください。

ぼくは、みそのことがすばらしいと思います。みなさんもみそをたくさんとってください。

ぼくは、みそのことが大しすきです。大すきなのでよかったです。

味噌の色々なことを知れたのでよかったです。

わたしは、みその作りおやどうや、たらのスうずにできるのがわかったのでよかったです。

水あめ　あり・あと・うえ・おか・かど・かぜ・き・みそ・ゆめ・ゆき・ゆうき・ゆうべ・ゆうやけ・ゆうがた・ゆうぐれ・ゆうひ・ゆうびん・ゆうえん・ゆうき・ゆうべ・ゆうやけ・ゆうがた・ゆうぐれ・ゆうひ・ゆうびん・ゆうえん